

単位数	2	学科（型） 学年	建設工学科（建築型） 3年	教科書 副教材等	建築計画（実教出版）
学習目標		各種建築物の計画、都市計画、建築設備、建築の歴史的な変遷などの建築計画に関する基礎的な知識と技術を身に付ける。また、豊かな建築空間を合理的に計画・設計できる能力と態度を身に付ける。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	4 建築の設備			○消火設備や警報設備、避難設備、避雷設備、搬送設備などに関心を持ち、これらの計画の方法の理解に意欲的に取り組んでいる。 ○空気調和設備や換気設備、電気設備、防犯設備などの基本的な事項と、これらの計画の方法について理解している。 ○給排水設備や衛生設備、浄化槽、ガス設備などの基本的な事項と、これらの計画の方法について思考・判断し、表現できる能力を身に付けている。	
2	5 建築物の企画や計画			○集合住宅や事務所、小学校の役割・種類に関心を持ち、計画上の特質などの理解に意欲的に取り組んでいる。 ○火災や地震などに対する防災計画や避難計画の基本的な事項と、日常災害を防止するための方策について理解している。	
3	6 都市の計画			○都市における都市計画の目的や理念をはじめ、都市計画の基本的なしくみなどについて思考・判断し、表現できる能力を身に付けている。 ○まちづくりに関心を持ち、それぞれの地域の特性を生かした環境づくりの実現化の方法などの理解に意欲的に取り組んでいる。	
評価の観点		内 容			
知識・技能		・建築計画を合理的かつ適切なものにするため、その根拠となるデータや数値を算出する方法等を身に付けている。また設計者として望ましい心構えや態度を身に付けるとともに、建築計画の意義や役割を理解している。			
思考・判断・表現		・建築計画に関わる基礎的・基本的な知識・技術を活用して思考・判断し、表現できる能力を身に付けている。			
主体的に学習に取り組む態度		・建築計画に興味・関心を持ち、その目的や意義をはじめ、建築物の作り出される過程との関わりなどを理解するため、意欲的に取り組んでいる。建築計画を合理的かつ適切なものにするため、その根拠となるデータや数値を算出する方法等を身に付けている。			
評価方法	学習状況は、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4つの評価の観点で評価します。具体的には、主に「出席の状況」、「授業中の態度や取り組む姿勢」、「提出物」、「小テスト」、「定期考査」により評価します。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 定期考査は、授業の内容から出題します。 ○ 課題やノート等の提出物は、必ず提出期限を守りましょう。					